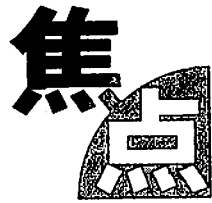


多摩市の廃プラ施設 延期

隣市住民へ説明不足

多摩市が進める廃プラスチック中間処理施設の建設計画に、隣接する川崎市内の住民らが反対したため、多摩市は今春、同施設の着工延期を決めた。町田市では昨年、同様の施設計画が撤回に追い込まれた。行政区域境の処理施設について、隣市の住民も納得するまで説明できるか、対応が問われている。(畑武尊)



計画されているのは、捨てられたレジ袋や弁当の容器などのプラスチックを再資源化するための中間処理施設。多摩市諏訪の「エコプラサザ多摩」内に建設し、プラスチックを圧縮、梱包する。今年3月に着工し、来年4月に稼働する予定だった。ところが、同施設の約300メートル南側にある川崎市麻生区の住民らが「健康被害も心配されるのに、着工直前まで説明がなかった」と反発。今年7月、計画見直しの署名を集めて多摩市議会に陳情などを行った。川崎市の住民側代表、山

市民向けと差、不信買う

田康貴さん(39)は「多摩市民への手厚い説明と落差が大きすぎる」と不信感をあらわにする。多摩市では2005年から約300回にわたり、市民に対して有料化など、み問題全般に関する説明会を実施してきた。同施設の説明を始めたのは昨年8月からだが、実質的な周知はそれまでの説明会で既にある程度行われていた、と指摘する。

一方、川崎市民への説明は昨年9月、施設から500メートル以内の約130世帯にチラシを配ったのが最初という。今年2、4月には説



廃プラ中間処理施設建設が計画されている「エコプラサザ多摩」(18日)

05年には、多摩市の隣の町田市で、八王子市、神奈川県相模原市の市都県境近くに廃プラ中間処理施設の計画が発表され、両市民の強い抗議を受けるといふ事態が起きた。町田市は昨年、計画を断念し、業務を請け負う予定だった業者に對し、2億4400万円の違約金を支払う羽目となった。

同様の中間処理施設は全国約800か所所あり、今回のトラブルは施設そのものより、事前説明の不足に端を発している。多摩市は「市民参加の市政」をうたっている。隣接自治体の住民は有権者ではないが、生活面では当事者ともいえる。すべての当事者に対する丁寧な説明が、多摩市には求められている。

描こう口で足で

小平で世界障害者絵画展

両手が不自由な人が口や足で絵筆を持って描いた作品を展示する「世界障害者絵画展」(三菱電機ビルテクノサービス主催)が18、20日、小平市天神町の同社教育センター内の体育館で開かれ、3日間で約1900人が鑑賞に訪れた。

18、20日には、出展者の一人で大田区の古小路浩典さん(44)が、口にくわえた絵



創作実演をする古小路浩典さん(20日)

行った。古小路さんは、中学3年生の時に器械体操クラブの活動中に、誤って頭から床に落下した。肩から下が動かせなくなったが、入院中に口にくわえた絵筆をくわえて文字や絵を描く練習を始めた。首の筋肉が弱り、絵筆をくわえ続けることは非常に困難だが、92年には東京自治会館で開かれた。

「頑張る地方応援プログラム」を続けてきたという。

総務省と9首長府中で意見交換
地方応援懇談会
総務省が主催する「頑張る地方応援懇談会」が20日、府中市新町の東京自治会館で開かれた。

今年度から同省が始めた「頑張る地方応援プログラム」をめぐって、多くの人を励ますこと、とができれば」と、今後への意欲を語った。

を求めようと同省が全国を回って開催しているもので、八王子市の黒須隆一市長、立川市の青木久市長ら多摩、島しょ地域の首長9人が参加し、同省の土屋正忠総務大臣政務官らと意見

<p>あすの天気</p> <p>5月22日(火)</p> <p>通日 142</p> <p>旧4月6日</p>	<p>小河内</p> <p>降水確率は6時</p>	<p>青梅</p>	<p>府中</p>	<p>八王子</p> <p>午前午後</p>	<p>多摩</p> <p>多摩北</p>	<p>多摩</p> <p>多摩北</p>	<p>多摩</p> <p>多摩北</p>
---	---------------------------	-----------	-----------	------------------------	----------------------	----------------------	----------------------